

第1学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。</p> <p>(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
教科書	技術・家庭 技術分野（東京書籍）
副教材	木材製作教材

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト、実技テスト ・ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト、実技テスト ・授業の様子や発言内容 ・振り返り、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言内容、他者との協働 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートやプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全面に気をつけ、事故やケガをしないように心がけましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
10	・ガイダンス	・3年間で学習する内容の確認をし、社会や生活に生かされている技術に関心をもち、その役割を知ることができる。
	・情報についての基礎的・基本的な知識・技能	・コンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得することができる。
	・材料と加工の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・主な材料や加工についての科学的な原理・法則や材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
11	・材料と加工の技術による問題解決 「生活に役立つ木工作品の製作」	・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等を行うことができる。
12		・材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
1		・身の回りの問題を見出して課題を設定し、それに基づいた製作物を構想し、設計図・工程表を具体化できる。 ・組み立てに向けて必要な部品加工を行い、製作品を完成させることができる。
2		・完成した製作品について発表し、相互評価に基づいて製作品や解決過程の修正・改善ができる。
3	・社会の発展と材料と加工の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた材料と加工の技術の概念を理解することができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切に選択・管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良や応用をしたりすることができる。